



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 太平洋興発株式会社

コード番号 8835 URL <http://www.taiheiyo.net/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 幹介

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 上原 與章 TEL 03-5830-1602

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	13,445	15.6	452	4.1	434	16.7	225	59.8
24年3月期第2四半期	15,922	26.2	471	56.4	521	25.2	561	44.9

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 13百万円 (-%) 24年3月期第2四半期 339百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	3.33	-
24年3月期第2四半期	8.28	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	34,877	12,882	36.0	184.95
24年3月期	34,288	13,033	37.1	187.36

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 12,540百万円 24年3月期 12,704百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	-	-	-	2.00	2.00
25年3月期	-	-	-	-	-
25年3月期(予想)	-	-	-	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,000	3.0	800	2.4	700	21.2	400	13.6	5.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

#### 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 - 社（社名） - 、除外 - 社（社名） -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有  
詳細は、添付資料3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」を参照。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

以外の会計方針の変更： 無

会計上の見積りの変更： 有

修正再表示： 無

「四半期連結財務諸表の用語、株式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものである。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」を参照。

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期2Q	67,834,489株	24年3月期	67,834,489株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

25年3月期2Q	28,879株	24年3月期	27,404株
----------	---------	--------	---------

期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期2Q	67,806,425株	24年3月期2Q	67,809,104株
----------	-------------	----------	-------------

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了している。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入力可能な情報に基づき作成しているが、実際の業績は今後様々な要因により大きく異なる可能性がある。なお、上記業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」を参照。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(6) セグメント情報等 .....	10
(7) 重要な後発事象 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等により、一部回復基調が見られてきたものの、欧州財務危機等による世界経済の不透明感、さらに円高・株価の低迷が長期化するなど先行き不透明な状況が続いている。

このような経済状況下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、前年同期と比較し、商事事業の輸入炭販売数量の減少及び単価が下落したこと、さらに利益率が減少したことを主因に、売上高は134億45百万円（前年同期比15.6%減）、営業利益4億52百万円（同4.1%減）、経常利益4億34百万円（同16.7%減）と減収・減益となった。

また、前年同期と比較し、特別利益が4億53百万円減少したため、四半期純利益は2億25百万円（同59.8%減）となった。

なお、セグメントの業績は次のとおりである。

#### 不動産セグメント

当第2四半期連結累計期間は、札幌の棚卸資産の売却がなかったことにより、売上高は13億46百万円（対前年同期比12.0%減）と減少したが、賃貸物件の修繕費が減少したこと等により、営業利益は3億23百万円（同12.9%増）となった。

#### 商事セグメント

輸入炭販売単価の下落及び販売数量、利益の減少により、売上高は72億54百万円（同22.0%減）となり、営業利益は2億36百万円（同31.2%減）となった。

#### サービスセグメント

シルバー事業の稼働率維持等順調に推移し、売上高は28億92百万円（同2.6%増）となり、各サービス事業のコスト軽減もあり、営業利益は1億95百万円（同20.8%増）となった。

#### その他のセグメント

電気設備等の工事売上高が減少したことにより、売上高は19億53百万円（同14.1%減）となったが、コスト軽減もあり、営業利益は53百万円（同563.6%増）となった。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、348億77百万円となり、前連結会計年度末に比べて5億89百万円増加となった。この主な要因は、輸入炭等の在庫数量が増加したことにより棚卸資産の商品及び製品が9億16百万円増加したことによるものである。

負債は、219億95百万円となり、前連結会計年度末に比べて7億40百万円増加となった。この主な要因は、短期借入金の増加等によるものである。

純資産は、四半期純利益2億25百万円となり利益剰余金が増加したが、その他有価証券評価差額金の減少2億53百万円等により、128億82百万円（前連結会計年度末比1億50百万円減）となり、自己資本比率は36.0%（前連結会計年度は37.1%）となった。

#### キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物残高は49億45百万円となり、前第2四半期連結会計期間末に比べ88百万円増加となった。また、前連結会計年度末に比べ71百万円減少となった。

なお、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりである。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動等の結果使用した資金は5億18百万円（前年同四半期は7億21百万円の支出）となった。これは主に事業活動によるものである。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動等の結果使用した資金は1億94百万円（前年同四半期は2億49百万円の支出）となった。これは主に固定資産の取得によるものである。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動等の結果得られた資金は6億42百万円（前年同四半期は18億60百万円の収入）となった。これは主に借入金の増加によるものである。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想(通期)については、現時点で平成24年5月14日に公表した計画から変更はない。

なお、業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであるため、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合がある。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はない。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算している。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び関係会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更している。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微である。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,236	5,175
受取手形及び売掛金	3,314	2,937
販売用不動産	400	341
未成工事支出金	219	797
商品及び製品	2,610	3,526
原材料及び貯蔵品	168	150
その他	1,695	1,767
貸倒引当金	37	20
流動資産合計	13,608	14,675
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,579	4,437
土地	10,098	10,103
その他(純額)	833	886
有形固定資産合計	15,511	15,426
無形固定資産		
その他	130	88
無形固定資産合計	130	88
投資その他の資産		
投資有価証券	2,294	1,929
長期貸付金	289	274
差入保証金	1,971	1,968
その他	521	525
貸倒引当金	39	10
投資その他の資産合計	5,037	4,687
固定資産合計	20,679	20,202
資産合計	34,288	34,877
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,352	2,650
短期借入金	3,031	3,592
賞与引当金	227	233
じん肺補償損失引当金	70	70
その他	2,313	2,387
流動負債合計	7,996	8,932
固定負債		
社債	789	962
長期借入金	1,957	2,080

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受入保証金	4,449	4,495
退職給付引当金	643	652
債務保証損失引当金	1,196	1,283
資産除去債務	190	190
その他	4,032	3,397
固定負債合計	13,258	13,062
負債合計	21,254	21,995
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,782	3,782
資本剰余金	2,890	2,890
利益剰余金	4,155	4,245
自己株式	3	3
株主資本合計	10,824	10,914
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,209	955
土地再評価差額金	670	670
その他の包括利益累計額合計	1,879	1,625
少数株主持分	329	341
純資産合計	13,033	12,882
負債純資産合計	34,288	34,877

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	15,922	13,445
売上原価	13,919	11,470
売上総利益	2,003	1,975
販売費及び一般管理費	1,532	1,523
営業利益	471	452
営業外収益		
受取配当金	28	25
負ののれん償却額	60	-
その他	43	65
営業外収益合計	132	91
営業外費用		
支払利息	57	68
その他	24	40
営業外費用合計	82	109
経常利益	521	434
特別利益		
固定資産売却益	100	12
投資有価証券売却益	380	13
その他	-	1
特別利益合計	481	27
特別損失		
投資有価証券評価損	-	30
債務保証損失引当金繰入額	220	87
じん肺補償損失	65	-
その他	32	14
特別損失合計	318	132
税金等調整前四半期純利益	684	328
法人税等	84	87
少数株主損益調整前四半期純利益	599	240
少数株主利益	37	15
四半期純利益	561	225

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	599	240
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	259	253
その他の包括利益合計	259	253
四半期包括利益	339	13
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	300	27
少数株主に係る四半期包括利益	38	14

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	684	328
減価償却費	355	342
負ののれん償却額	60	-
固定資産売却損益(は益)	74	12
固定資産除却損	4	13
受取配当金	28	25
受取利息	6	5
支払利息	57	68
投資有価証券売却損益(は益)	380	13
投資有価証券評価損益(は益)	-	30
売上債権の増減額(は増加)	230	377
たな卸資産の増減額(は増加)	433	1,416
仕入債務の増減額(は減少)	381	327
債務保証損失引当金の増減額(は減少)	220	87
じん肺補償損失引当金の増減額(は減少)	65	-
その他	393	3
小計	139	105
利息及び配当金の受取額	34	31
利息の支払額	59	75
法人税等の支払額	76	113
法人税等の還付額	10	25
引受債務の支払額	492	492
営業活動によるキャッシュ・フロー	721	518
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	780	183
固定資産の売却による収入	221	24
投資有価証券の取得による支出	1	58
投資有価証券の売却による収入	418	18
定期預金の増減額(は増加)	121	9
その他	12	14
投資活動によるキャッシュ・フロー	249	194

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の発行による収入	-	245
社債の償還による支出	104	124
短期借入れによる収入	3,676	2,842
短期借入金の返済による支出	1,492	2,120
長期借入れによる収入	130	400
長期借入金の返済による支出	182	437
配当金の支払額	101	135
その他	64	26
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,860	642
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	888	71
現金及び現金同等物の期首残高	3,967	5,016
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,856	4,945

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はない。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はない。

(6) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	不動産	商事	サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,529	9,300	2,817	13,648	2,274	15,922
セグメント間の内部 売上高又は振替高	126	279	208	613	559	1,173
計	1,656	9,579	3,026	14,261	2,834	17,095
セグメント利益	286	344	161	792	8	800

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種機械及び電気設備等の製造修理、炭カル肥料・消石灰・石粉の製造販売を行っている。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	792
「その他」の区分の利益	8
セグメント間取引消去	5
全社費用(注)	334
四半期連結損益計算書の営業利益	471

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門に係る費用である。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はない。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	不動産	商事	サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,346	7,254	2,892	11,492	1,953	13,445
セグメント間の内部 売上高又は振替高	129	306	241	676	52	729
計	1,475	7,560	3,133	12,169	2,006	14,175
セグメント利益	323	236	195	756	53	809

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種機械及び電気設備等の製造修理、炭カル肥料・消石灰・石粉の製造販売を行っている。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	756
「その他」の区分の利益	53
セグメント間取引消去	8
全社費用(注)	366
四半期連結損益計算書の営業利益	452

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門に係る費用である。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はない。

(7) 重要な後発事象

該当事項はない。